



発行所
自衛隊 西部方面総監部
総務部広報室
電話 096-368-5111
印刷所
(有)明星印刷所



西部方面隊創隊70周年記念行事
～防衛体制の強化と取組みについて理解を深化～

西部方面隊（総監 鳥海誠司陸将）は令和8年3月1日（日）、健康駐屯地において西部方面隊創隊70周年記念行事を開催しました。鳥海総監は式辞において西部方面隊の歩んできた70年を振り返り、「発足当初から「地域とともに歩む陸上自衛隊」として我が国の防衛警備はもとより、度重なる災害派遣を通じて地域との絆を深めるとともに、時代の要請に応じつつ進化を遂げ、数々の任務を遂行できたことは、九州・沖縄地域の皆様、自治体及び関係諸団体の皆様のご理解とご協力、そして歴代総監をはじめとする諸先輩方の多大なご尽力があつてこそ」と感謝を述べました。

記念式典後は、創隊70周年の節目の新たな試みとして、部外講師（秋元千明氏（英国王立防衛安全保障研究所（RUS）日本特別代表））による記念講演を実施し、日米共同・統合による装備の動的展示、体験試乗、装備品展示、音楽演奏等のイベントを行いました。ご来場の地域の皆様にも感謝の意を伝えるとともに、我が国を取り巻く安全保障環境が戦後最も厳しい状況にあり、西部方面隊が防衛力の抜本的強化に取り組んでいることについて理解を深めていただきました。



記念式典で式辞を述べる鳥海総監



西部方面音楽隊の演奏



同盟の結束を示す日米の指揮官等



水陸両用車の動的展示



16式機動戦闘車の動的展示



記念講演（講師：秋元千明氏）



米海兵隊音楽隊の演奏



第4音楽隊のパフォーマンス



西部方面音楽隊の演奏



西部方面音楽隊によるオープニング



自衛太鼓チームの演舞



第8音楽隊の演奏



全出演部隊によるフィナーレ



第15音楽隊のパフォーマンス

西部方面隊は、令和8年2月11日（水）、市民会館シアーズホーム夢ホール（熊本市）において令和7年度西部方面音楽まつりを実施しました。

「地域とともに70年。守り続ける未来のために」をテーマに、西部方面隊70周年を広く周知し、九州・沖縄の地域住民からの西部方面隊に対する親近感及び信頼感の醸成・拡大を図るとともに、隊員の士気の高揚及び音楽演奏能力の向上を図りました。

第4音楽隊、第8音楽隊、第15音楽隊、自衛太鼓チームによる演舞の他、米海兵隊第3海兵機動展開部隊音楽隊のゲスト演奏により、ご来場いただいた約2,200名の皆様に対し、日頃の感謝を込めて演奏を披露しました。

来場された方々からは、「迫力ある演奏や太鼓をステージ近くで見ることができ、自衛隊の力強さを感じた」「子供が太鼓の迫力に大興奮だった」「米海兵隊との演奏も素晴らしく日本の強い絆を感じた」「開演前の映像や演奏中の映像から自衛隊、方面隊70年の歴史を知るとともに、プログラムに組み込まれており流されがよかった」等の感想や賞賛の言葉をたくさんいただきました。

令和7年度西部方面音楽まつり
～九州・沖縄の皆様への信頼感を拡大！～



航空機研修（鹿屋）



隊員との懇談（新田原）



奄美駐屯地の概要説明



航空機研修（鹿屋）



基地司令講話（新田原）



12SSM等の研修

西部方面隊は、令和8年2月16日（月）から19日（木）の間、陸上自衛隊奄美駐屯地・航空自衛隊新田原基地及び海上自衛隊鹿屋航空基地において、オピニオン・リーダー鹿屋島・宮崎地区部隊研修を実施しました。

オピニオン・リーダーの方々には、各駐屯地・基地の概要説明、装備品展示、新田原基地司令の講話及び隊員との懇談に参加していただきました。各駐屯地・基地研修を通じて、我が国を取り巻く安全保障環境が戦後最も厳しい状況にあり、我が国が防衛力の抜本的強化に取り組むこと、我が国の安全保障体制が急速に充実していること、自衛隊が国を安全に守るために奮闘していること、航空自衛隊やP1哨戒機の運用体制強化が進む海上自衛隊を含め、南西防衛における陸海空の統合運用態勢が一層強化されていることについて理解を深めていただきました。

オピニオン・リーダーの方々からは「地域と自衛隊をつなぐ架け橋の役割を果たし、誤解や偏見を解きほぐし、相互理解を深め、地域の安心につながる対話を育てていく」という心強い言葉をいただきました。

オピニオン・リーダー部隊研修
～地域の架け橋としての発信源！～

第四師団

お問い合わせ先
福岡駐屯地
第4師団広報室
092-591-1020

第4音楽隊巡回演奏会 in 諫早

大きな感動と来場者との一体感！

第4師団は、令和8年1月24日(土)、長崎県諫早市諫早文化会館において、第4音楽隊巡回演奏会を実施しました。

本演奏会は、師団区内の地域の皆様へ自衛隊に対する親近感を持って頂くことを目的として北部九州4県を巡回しつつ、演奏活動を実施しているものです。

本演奏会は、第1部と第2部で構成されたプログラムにより進行しました。親しみやすい選曲による演奏を通じて、日頃の厳しい練成の成果を存分に発揮し、ご来場の皆様に深い感動をお届けすることができました。特に、第4音楽隊長 松田1尉による演奏指揮とピアノ演奏を同時に行う「二刀流」のパフォーマンスは、会場を一層盛り上げ大きな感動と一体感を生み出しました。本演奏会にオーボエ奏者として参加した長崎県五島市出身の隊員は、「大勢の方々に来場していただき、盛会のうちに終ることが心から嬉しく思います。以前、長崎県に所在する大村駐屯地で勤務していたこともあり、今回の演奏会は想い入れが強く、諫早市は当時の演奏任務を思い出す懐かしい場所でした。かつての上司や後輩、演奏を通じて知り合うきっかけとなった方々も観に来ていただき、特別な一日になりました。第4音楽隊の演奏で聴衆の方々にたくさんの笑顔と感動をお届けすることができたのではないかと実感しています。今後とも皆さんの感動をお届けすることができるよう精一杯努力精進してまいります」と述べました。日頃から応援していただいている地域の皆様や隊員家族の皆様にも多数ご来場いただき、「3年ぶりに聴くことができて楽しかったです」とも感動しました。とお声をいただきました。

今回は、佐賀県にて開催を予定しております。引き続き、日頃の訓練で磨いた技量を存分に発揮し、皆様の心を揺さぶる演奏をお届けできるよう努めてまいります。



オーボエ奏者(五島市出身)



国歌斉唱



二刀流のパフォーマンスを披露する隊長



開演

令和7年度HTC実動対抗演習

実践的な戦い方

第4師団は、令和8年2月23日(月)から3月2日(月)までの間、日出生台演習場において、第16普通科連隊を基幹とする部隊をもって、訓練評価支援隊(北海道トレンギングセンター)以下HTCという。が実施する令和7年度HTC実動対抗演習に對抗部隊として参加しました。

この対抗演習では、最新の装備品等を模倣したドローン等のシステムが使用され、より実践的な状況判断や戦術行動が求められます。そのような環境の中、これまで對抗部隊として蓄積した練度を遺憾なく発揮し、對抗部隊として真剣に臨み、相手部隊の戦闘能力の向上に寄与することができました。この際、衛星、ドローン、斥候、電子戦、化学

攻撃、サイバー等を最大限活用し、陣地、車両、火器等の位置の情報を収集して、正確な砲撃火力等の集中発射により相手部隊を撃破する等、情報と火力を迅速に連携させる練度の向上を図り、對抗部隊として所望の成果を得ることができました。

本訓練に参加した分隊長は「瞬時に状況判断することの難しさを痛感しました。今まで継続して訓練してきたことも本番になると色々な状況が生じて上手くいかないことが多くあり、個人としても分隊としても自ら考え、もつと工夫して訓練をしなければいけないと思いました。今回の訓練をもとに更なる高みを目指して日々訓練に励んでまいります」と述べました。

第4師団は本演習で得た成果を今後を生かすとともに、ウクライナやイランでの教訓を更に研究し、陸上自衛隊の精強化のため、強い部隊の育成に邁進してまいります。



交戦する隊員



攻撃前進



指揮官会議



情報収集活動

第4情報隊編成完結式

北部九州の情報力を更に強化

第4師団は、令和8年3月23日(月)、福岡駐屯地において、第4情報隊の新編に伴い、編成完結式を実施しました。

第4情報隊は、情報に関する専門的知識及び技能をもって各種分析を行い師団司令部の情報業務を支援するとともに、長距離飛行可能な無人偵察機により、情報収集・監視・偵察活動を実施する部隊です。

式典では、第4師団長 前島陸将から初代第4情報隊長 遠藤憲仁2佐へ部隊の象徴である隊旗及び看板が授与されました。訓示の中で師団長は、「即応力の強化、安全・健全の2点を要望事項とし、遠藤2佐を核心とした強固な団結の下、厳正な規律及び旺盛な士気を保持した部隊になってほしい」と期待を述べました。また、式典終了後に遠藤2佐は、第4情報隊の隊員に対し、「挑戦、創造、感謝、を要望するとともに、早期に実効性ある部隊を作り上げる」と強い決意を表明しました。

第4師団は、新たに強化された情報能力を最大限に発揮し、国民の負託に応えるため、更なる精強化に努めてまいります。

4 情報隊編成完結



看板授与



参列部隊



無人偵察機

第八師団

お問い合わせ先
北熊本駐屯地
第8師団広報室
096-343-3141

島しょ演奏会(第8音楽隊)

与論島民と歌声と拍手で一体化

第8師団は、令和8年1月23日から1月24日までの間、与論島(砂美地来館)において、令和7年度島しょ演奏会を実施しました。

第8音楽隊(隊長 永田2尉)は、「守る力と届ける音楽」をテーマとし、日米両国行進曲「陽光を背に」に続き「忠誠」を演奏し迫力ある幕開けとなりました。

隊員のユーモアを交えた「口笛吹きと犬」では、犬に仮装した隊員と口笛吹きとの軽妙なやり取りがあり、会場が一気に和やかな雰囲気となりました。続いて誰もが知る名番組のテーマ曲を綴った「伝説の長寿番組メドレー」では、過去を思い出す旋律に会場は笑顔と笑いに包まれました。

最後の場面では、演奏技術指導を実施した与論中学校及び与論高校の吹奏楽部の生徒とともに、与論高校吹奏楽部顧問の指揮による「宝島」を披露し聴衆を魅了しました。

アンコールでは、歌謡曲「与論島慕情」を演奏し、会場が歌声と手拍子で一体となり演奏会は盛会の裡に幕を閉じました。

本演奏会を通じて、島民の皆様との絆をより一層深化させ、自衛隊に対する理解と信頼を獲得しました。



砂美地来館にて



口笛吹パフォーマンス



中高生に対する演奏技術指導



集合写真

沿岸監視訓練(第8情報隊)

南部九州における隙のない監視力

第8師団は、令和8年2月26日から3月5日までの間、鹿児島県熊毛郡南種子町恵美之江展望公園において、海上情報収集能力向上を目的とした、令和7年度第2回師団沿岸監視訓練を実施しました。

第8情報隊(隊長 吉岡2佐)は、スキャンイーグルによる海上情報収集を演練し、目標の識別・標定精度の能力向上及び生地におけるUAV展開能力の向上を図りました。

引き続き第8情報隊は、UAV運用能力実効性向上及び情報処理能力の向上に努め、各種訓練に邁進していきます。



発射装置の点検



回収装置の展開

システム通信訓練(第8通信大隊)

練度を向上、強靱な通信能力を確認

第8師団は、令和8年2月16日から2月20日までの間、北熊本・都城駐屯地及び各展開地域(生地)において、システム通信・電磁波作戦・システム防護に係る能力向上を目的とした、令和7年度第2回師団システム通信訓練を実施しました。

参加部隊として師団隷下部隊の他、西部方面特科連隊及び第2施設群の通信担当者を集め、師団南海トラフ地震対処計画における部外光回線を活用したシステム通信の構成要領を演練するとともに、民生通信器材を活用した抗たん性あるシステム通信組織及び機動間通信の構成により計画の実効性及び練度を向上することができました。



アクセスノード開設



参加部隊との認識統一

第十五旅団

お問い合わせ先
那覇駐屯地
第15旅団広報・渉外班
098-857-1155

令和7年度第2次旅団訓練検閲

～あらゆる任務の遂行能力を確認～

第15旅団は、令和8年2月19日(木)から23日(月)までの間、沖縄県に所在する駐・分屯地、基地及び訓練場等において令和7年度第2次旅団訓練検閲を実施しました。本検閲において第15高射特科連隊、第15偵察隊及び第15情報隊が受閲し、事態推移に応じた有機的な指揮幕僚活動及び部隊運用、作戦行動に関する基本的行動・隊員の基礎動作及び各部隊・隊員の戦術・戦技能力を主要検閲項目とし、各部隊の任務遂行に係る練度の進歩・向上を図るとともに、今後の練成訓練の資を得ました。



与座岳分屯地に展開した第15高射特科連隊



偵察を実施する第15偵察隊



スキャンイーグルによる情報収集準備中の第15情報隊

第16回定期演奏会(第15音楽隊)

～琉球の響き、観客と隊員の心を一つに～

第15音楽隊は令和8年2月1日(日)、沖縄コンベンションセンターにおいて第16回定期演奏会を行いました。演奏は2部構成とし、第1部ではクラシカルな楽曲を中心に第15音楽隊委嘱作品「琉球狂詩曲」を世界初演奏しました。第2部には増田3曹のサクソフォン独奏や、映画『千と千尋の神隠し』より「スピリテッド・アウェイ」を演奏し、第15音楽隊の演奏技術の高さを披露して約1,200名の来場者を魅了しました。

来場者からは「柔らかな音色から力強い音まで迫力があり、とても楽しかった」「選曲が素晴らしかった」とお言葉をいただきました。



第15音楽隊による合奏



船越音楽隊長による指揮



増田3曹によるサクソフォン独奏



沖縄にゆかりのある楽曲演奏

鹿児島県緊急患者空輸 2000件に対する感謝状受賞

第15旅団は、令和7年11月に行った緊急患者空輸により、鹿児島県における緊急患者空輸回数が2,000件となりました。これを受け、長年にわたり離島医療を支えた功績として、鹿児島県から感謝状をいただきました。旅団は引き続き、地域の皆様の安心・安全を守るため、安全確実に任務を行ってまいります。



受賞風景①



受賞風景②

最前任上級曹長交代式

～更に強靱な旅団へ～

令和8年3月12日(木)、旅団最前任上級曹長交代式を行いました。第8代旅団最前任上級曹長島袋准尉から第9代旅団最前任上級曹長池田准尉への交代式となり、新たに最前任となる池田准尉は「隊員の声に耳を傾け、現場に足を運び、指揮官を補佐しながら、隊員同士の「結(ゆい)」を大切にしたい強い旅団づくりに全力で取り組んでまいります」と決意を述べました。



旅団長による紹介



上番した池田准尉による着任の辞



下番した島袋准尉による離任の辞

方面直轄部隊

第102高射特科隊

～持続走競技会(第2高射特科団) 全隊員、目標に向かって切磋琢磨～

第102高射特科隊(第2高射特科団)は令和8年2月12日(木)、竹松駐屯地において、令和7年度隊持続走競技会(3キロ走)を行いました。

本競技会は隊員の士気の高揚、融和団結及び戦術戦技能力の向上、また統制部の統制能力の向上を図る目的で行われたもので、隊長要望事項「己に打ち勝て」を胸に、隊員一人ひとりが目標タイムを達成するため、年度を通して練成して競技に臨みました。各小隊等の5個チームで競った団体の部においては、射撃小隊が悲願の優勝を果たしました。また個人の部では男女別及び年齢別の表彰と総合最速タイムの隊員を表彰しました。

最速タイムで個人総合優勝した末吉曹長(43歳)は、9分46秒の好タイムで昨年度に続き2連覇を達成となりました。末吉曹長は「2連覇を目標に夏場の走り込みや部外大会に出場するなど準備をしっかり整えることができ、競技会当日も絶好のコンディションで臨んだ結果、シーズンベストでの2連覇を達成することができた。これに慢心することなく3連覇を目指して引き続き練成に励んでいく」と前向きにコメントしました。その後3月5日に行われた団持続走競技会では、総監督として隊を牽引し駆伝の部第1位、そして総合優勝の成果を収めました。また個人として4区の区間賞を受賞し、団長からも表彰されました。

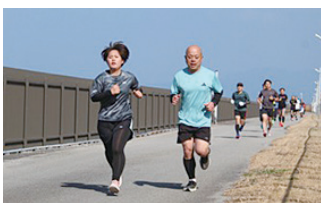
全隊員が目標に向かって切磋琢磨することは、個人の体力向上のみならず、部隊の団結の強化、士気の高揚及び帰属意識の涵養につながりました。今後もいかなる任務も達成するために隊員一同、精進してまいります。



団競技会「総合優勝」



最速隊員の個人表彰



強風の海沿いを疾走



一斉にスタート

令和7年度佐賀県災害対策実動訓練

～連携強化 共に備え、守る～

九州補給処は、西部方面後方支援隊とともに、令和8年1月13日(火)、佐賀県杵臼郡大町町にある日本協会レスキュー協会モアワンにおいて、佐賀県危機管理防災課が主催する佐賀県災害対策実動訓練に参加しました。

本訓練は、最大震度6強の地震による土砂災害が発生した想定のもと、各機関・団体の実動による災害時の対応力と県民の安全確保体制を高める目的として実施され、佐賀県内の消防、警察、自衛隊等14機関、約100名(九州補給処からは6名)が参加し、現地对策本部等との調整や災害対処器材を使った土砂災害現場における行方不明者の捜索・救助等を実施し、各機関相互の対応力について理解を深めるとともに、災害等発生時における円滑な相互連携のための資を得ることができました。訓練に参加した隊員は、「今回の合同訓練により、他の関係機関から多くのことを学ぶことができました。万が一災害が発生しても関係機関と連携し、迅速かつ確実な災害対処行動ができます」と述べました。(※九州補給処は令和7年度末の改編により、補給本部の隷下となりました。)



関係機関との調整



災害対処器材を使用した人命救助



災害対処器材を使用した捜索



関係機関と連携した人命救助

西部方面総監部付隊創隊70周年記念行事 総監部の屋台骨を支えて70年

西部方面総監部付隊(前隊長 淀川佳介3等陸佐)は、令和8年1月18日(日)、西部方面総監部付隊創隊70周年記念行事を実施しました。

本行事は、付隊OB等を招待し、5年毎に実施していますが、今回はコロナ禍で実施できなかったため、10年ぶりの開催となりました。

記念行事は、現職による人文字撮影に引き続き団結・士気の高揚を目的とした綱引きを実施した後、歴代隊長をはじめ付隊OBの参加による記念祝賀会を実施し、これまで築いて来られた70年間に想いを馳せるとともに、我々を取り巻く厳しく複雑な安全保障環境のもと任務達成に邁進する現職の活動等を理解していただくことができました。参加された方々からは、感謝の言葉や「迷彩服姿に接し、安心しました」等のお声をいただき、現職とOBの架け橋となる楽しいひとときとなりました。



現職隊員による人文字



祝賀会



祝賀会



現職隊員による綱引き大会

与那国駐屯地創立10周年記念行事 『どなんの島人』として共に歩んだ10年

西部方面情報隊与那国沿岸監視隊(隊長 小俣好史1等陸佐)は、令和8年3月28日(土)、与那国駐屯地創立10周年記念行事を挙行了しました。

駐屯地グラウンドで行われた記念式典は与那国町長をはじめ島内外の来賓及び住民約200名が見守る中、盛大に行われました。

小俣隊長は式辞の中で「発足から10年を迎えた今日、時勢の様々な荒波に揉まれる中、こうして当駐屯地が、この与那国の地に安定して所在できていることは、一重に常日頃から並々ならぬご厚誼を賜っておりますます多くの皆様のお力添えがあつてこそであり、心よりの感謝を申し上げる次第です」と述べ、駐屯地創立以来十年にわたる島民の皆様のご理解に深い謝意を示すとともに隊員の努力の姿をねぎらいました。

記念式典後に実施されたヘリ体験搭乗には、約30名の子供たちと保護者が参加し、上空から自分の家を探したり、きれいな海を見て楽しんでいました。残念ながら天候不良によりブルーインパルスは中止となりましたが、27日、予行のため与那国島に初めて飛来したブルーインパルスの姿を見た島民の方々からは大きな歓声が上がりました。

また、27日の前夜祭では、日米両国の音楽隊による合同演奏や島民の方々による余興が行われ、皆が一つとなつて盛り上がる一幕も見られました。

本行事を通じて与那国駐屯地隊員一同は「どなんの島人」として、与那国島と島民の皆様を断固として守り抜く決意を新たにしました。



陸自と米海兵隊合同コンサート



笑顔あふれるヘリ体験搭乗



ブルーインパルスの飛行訓練



記念式典

ハイレベルリクルーターによる 防衛大学校等説明会

自衛隊長崎地方協力本部(本部長 佐々木貴1等海佐)は、令和7年12月21日(日)防衛省長崎合同庁舎において第1回防衛大学校等説明会を、令和8年1月17日(土)佐世保合同庁舎において第2回防衛大学校等説明会を開催し、ハイレベルリクルーターとして海上幕僚長・齋藤聡海将の来崎を得られたほか、幹部リクルーターを招聘しました。

第1回防衛大学校等説明会では、防衛大学校等合格者及び保護者を対象に海上幕僚長の講話及び若手幹部リクルーターとの懇談を行い、第2回防衛大学校等説明会では、将来防衛大学校入校を目指す者及び保護者等を対象とした懇談形式で実施しました。

海上幕僚長からは、現在の日本を取り巻く安全保障環境、進路として自衛隊を選んだきっかけ、防衛大学校・幹部候補生学校生・若手幹部時代の経験談及び自衛隊の国内外における豊富なキャリアパスについて懇切丁寧かつ、ユーモアを交えながら分かりやすい言葉を用いて講話・懇談をしていただき参加者からは好評でした。他にも、若手幹部リクルーターとの懇談は、参加者と年齢層に近いこともあり自衛隊をより身近な存在に捉える機会となりました。

本説明会の参加者からは、「防大に行きたい気持ちが強くなった」「不安が払しょくされた」「キャリアパスについて具体的にイメージできた」との感想があり、自衛隊への理解促進及び受験・入校意欲の向上に繋がったものと考えています。

自衛隊長崎地方協力本部は、防衛大学校のみならず、今後もより多くの方々に自衛隊の魅力を知り、興味・関心を持って頂き、志願者や入隊・入校者の増加に繋がるよう引き続き積極的な募集広報活動に努めていく所存です。



海上幕僚長講話



防衛大学校概要説明



海上幕僚長と参加者の懇談



リクルーターと参加者の懇談

相浦駐屯地業務隊 巡回レディース健診

相浦駐屯地業務隊(隊長 清水直樹1等陸佐)は、2月5日(木)及び6日(金)の2日間、相浦駐屯地大瀧南宿舎地区において、「巡回レディース健診」を行いました。

本健診は、駐屯地近傍に健診専用バスを健診会場として設置し、隊員の奥様方(被扶養者)に、気軽に生活習慣病及び女性健診(乳房エコー、マンモグラフィ、子宮頸部細胞診)を受診していただくことを目的としています。

当健診は、令和4年度から毎年実施しており、無料又は割安での受診が可能かつ駐屯地に隣接する場所での受診が便利であるとともに、会場駐車場への誘導、隊員によるお子様お預かり等も行っており、普段、家事や子育て等で多忙な毎日を送る奥様方から、大変好評を得ている事業です。今回の受診者数は、百四十三名、お子様預かり二十四名で、全国の駐屯地・基地の中で2日間実施しているのは当相浦駐屯地のみで、受診者数も最多となっています。

健診を受診した方々からは、「女性スタッフの方が対応してくれるので安心感があります」「子どもを預かっていただき大変助かりました」「健診場所が宿舎から近いので、毎年受診しています」等の声をいただきました。

奥様の健康は、隊員が厳しい任務や訓練等に安心して参加するためには不可欠であるため、相浦駐屯地業務隊は水陸機動団をはじめ駐屯部隊隊員の任務達成の一助となる重要な事業として、今後も取り組んでまいります。



こども預かりの様子



健診専用バス



受診会場(宿舎集会場)の様子



会場駐車場への誘導

熊本駐屯地庁内託児所 園児募集中!

熊本駐屯地(自衛隊熊本病院)では、平成21年より駐屯地内に庁内託児所を開設しております。

現在、一般のご子息含む0から2歳児までが認可(西方ハロー保育園)で定員十九人、3から5歳児までが認可外(西方ハロー第二保育園)で定員二十一人の保育が可能です。



西方ハロー保育園



おやつタイム



みんなで仲良く遊ぶ様子

健康駐屯地業務隊補給科 1等陸曹 木村 有希 長女 木村 夢(ゆめ)さん

温か家族

私の将来の夢は自衛官です。

なぜかと言うと私のお父さんが自衛隊の仕事をしていてカッコイイと思ったし、困っている人を助けたいと思ったからです。

自衛隊の訓練は厳しそうだけど、訓練をした分強くなれると思いました。

私は訓練をたくさんしてたくさんの人の命を守りたいです。

そしてもし災害があつた時にその場所に行つてみんなを助けたいです。

そのために私は毎日、運動として走つたりご飯をたくさん食べた夜はしっかり寝ようと思ひました。

そしていつもの生活で忘れ物をしないようにしたり、やらなきゃいけないことをしっかりとしてみんなから頼られる人になって、自衛官になれるよう頑張りたいです。そして、お父さんみたいな自衛官になりたいです。

